

# CAC Group Profile

## 会社概要

名称	株式会社CAC Holdings	資本金	37億2百万円
英文名称	CAC Holdings Corporation	連結売上高	506億83百万円(2019年12月期)
本社所在地	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町24番1号 TEL.(03)6667-8001(代表)	連結従業員数	5,077名(2019年12月末)
代表者	代表取締役社長 酒匂 明彦	事業内容	グループの経営戦略策定および経営管理
設立	1966年(昭和41年)8月8日	主要取引銀行	三井住友銀行、三菱UFJ銀行、 みずほ銀行、三菱UFJ信託銀行、 三井住友信託銀行

<https://www.cac-holdings.com/>





# 世界をフィールドに 先進のICTをもって 新しい価値を創造する

私たちの使命。

それは、先進のICTで新しい価値を創造し続けること。

グローバル化や多様化する価値観から

生まれる市場のニーズを汲み取り、

私たちの生み出す新たなサービスで世界を変えていく。

それが、CACグループの存在意義です。

# IT&ヘルスケアサービスを国内外で展開する企業グループです。

企業の経営課題などを解決するITサービスや  
売上高は約500億円、従業員数は約5,000名、国内外9か国にある23

CRO(医薬品開発支援サービス)などを提供しています。  
のグループネットワークを活かし、グローバル事業を展開しています。

## ソフトウェア業界のパイオニア



日本のソフトウェア業界の  
黎明期に設立された独立系のパイオニア

## ITからヘルスケア分野の進出



医薬向けは、ITからCRO(医薬品開発支援)領域進出。  
ヘルスケア分野として主要事業の1つに

## DXを支える技術への取り組み



AIやIoT、ブロックチェーンなどの  
最新技術への取り組み

## お客様との共創



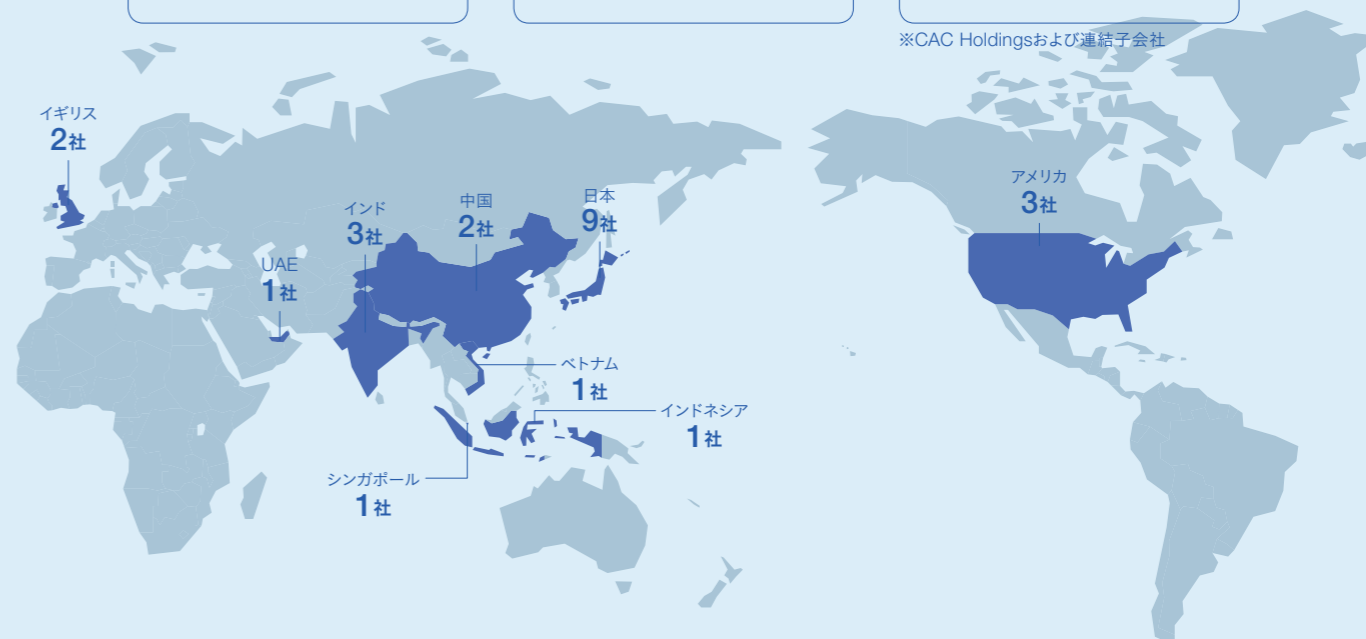
プライムコントラクター(元請)として  
お客様とともに最適なシステムを開発・提供

売上高  
**506**億円  
(2019年12月期)

従業員数  
**5,077**名  
(2019年12月31日現在)

グループ会社  
**23**社※  
(2019年12月31日現在)

※CAC Holdingsおよび連結子会社



## CACグループの成長戦略

### ■ 積極的なM&A

1994年、創業期に設立・出資した3社を合併し株式会社シーエーシーを発足。  
東証一部に上場した2000年ごろからは積極的なM&Aによる成長をしてきました。  
今後もM&Aを成長施策の一つとして継続していきます。

### ■ 海外展開

CACグループは、1978年の台湾法人設立を皮切りに、他社に先駆けて海外展開を開始しました。  
近年はグローバル需要に応えるため、M&Aを積極的に行うなどし、海外比率を高めています。  
今後も成長分野としてグループ一体となってグローバル対応を加速させます。





## 大きな時代の変化に対応し 持続的な成長を目指します

代表取締役社長  
酒匂 明彦

CACグループは、1966年に日本で最初の独立系ソフトウェア会社として発足しました。以来、「独立・中立」、「ユーザー指向」「成果物責任」を創業理念とし、お客様の業界や業務に関する知識を蓄積してITサービスを提供しています。また、CRO(医薬品開発支援)の分野を中心にヘルスケアサービスも展開しています。さらに各分野における海外展開も積極的に行い、グローバルで5,000名を超える従業員を有する企業グループに成長しました。

近年、AIやIoTをはじめとするデジタルテクノロジーが個人の生活や企業活動、社会全般までを大きく変革する「デジタルトランスフォーメーション(DX)」の波が急速に押し寄せています。この変革により私たちシステムインテグレーターやアウトソーサーを生業とする企業に求められる能力は大きく変わっています。

そこでCACグループは、「世界をフィールドに先進のICTをもって

新しい価値を創造する」を新しい企業理念として掲げ、グローバル化や多様化する価値観から生まれるニーズをいち早くつかみ、この大きな変化に対応できる企業グループになるべく、様々な取組みを推進しています。

昨今は、事業成長に向け、デジタルビジネスへのシフトや、更なる事業推進のための体制変更、一部事業再編やビジネス形態の見直しなどに注力しています。また、企業価値の向上に向け、ガバナンスや株主還元強化などにも取り組んでいます。

「ソフトウェア」という概念が日本に無かった時代に独立系ソフトウェア専門会社として創業してから50年が過ぎました。その間、社会は大きく変わり、ソフトウェアはもとより、ITサービスは私たちの生活にとってなくてはならない存在になっています。CACグループは、今後も常に時代のニーズに先行し、次の50年も社会に必要とされる存在であり続けることを目指していきます。

### 社会との関わり

#### 障害者スポーツ「ポッチャ」の普及・支援活動

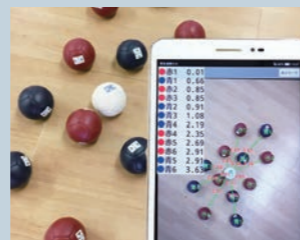
創業50周年を機に、2016年からポッチャの普及・支援活動を開始しました。現在は、日本ポッチャ協会のゴールドパートナーとして、ポッチャ体験会のサポートや、用具の寄贈、学生向け大会の企画・運営、本社屋1階に設置しているポッチャコートの一斉開放などを通じ普及活動を進めるほか、CACグループに所属するポッチャ公式審判員が国内最高峰の日本選手権をはじめ、各地の大会で活躍するなどしています。

また、ITを活用したツールの開発にも取り組んでおり、ポッチャボール間の距離を測定する「ポッチャメジャー<sup>®</sup>」はAndroidアプリとして無料配信をしています。

※©2020 CAC Corporation. 特許第6214746号



ポッチャ用具 寄贈の様子



ポッチャメジャー

## 国内IT事業



売上比率  
**62.5%**

### 主な事業内容

国内子会社におけるシステム構築サービス、システム運用管理サービス、人事BPOサービスなどの提供

### 主な事業会社

(株)シーエーシー / (株)アークシステム / (株)シーエーシーナレッジ / (株)CACオルビス / (株)CACマルハニチロシステムズ

## 海外IT事業



売上比率  
**20.6%**

### 主な事業内容

海外子会社におけるシステム構築サービス、システム運用管理サービス、保守サービスなどの提供

### 主な事業会社

CAC AMERICA CORPORATION / CAC EUROPE LIMITED / 希亞思(上海)信息技术有限公司 / CAC India Private Limited / Inspirisys Solutions Limited / Mitrais Pte. Ltd.

## CRO事業



売上比率  
**16.9%**

### 主な事業内容

製薬企業が医薬品開発時に行う治験業務(臨床開発)や製造販売後の業務の受託・代行サービスの提供

### 主な事業会社

(株)CACクロア

※化合物共有ライブラリー事業とは  
各製薬企業が個別に保有・保管している化合物ライブラリー(医薬品探索研究用化合物)を当社グループの設備及びプラットフォームに集約管理。集約したデータベースを、製薬企業やアカデミア、バイオベンチャーなどに向け広く公開することで、創業の早期化を支援します。

### 強みと特徴

#### プライムコントラクターとして 最適化したサービスを提供

プライムコントラクター(元請)としてお客様のニーズを直接汲み取り、お客様の業種に向けて最適化したITサービスを提供していることが特徴です。様々な業種の大手企業を主要なお客様とし、約半世紀の長い間、ビジネスを継続しています。中でも、金融(銀行、信託銀行)や医薬といった分野で多くの実績があります。

#### デジタルビジネスへのシフト

AIやIoTなどの新しい技術が社会を変革する「デジタルトランスフォーメーション(DX)」。お客様のデジタルトランスフォーメーションを強力に支援するため、私たち自身もデジタルビジネスへのシフトを進めています。AIやクラウド、金融関係の取引には欠かせない技術であるブロックチェーンなど、技術動向を常に先読みし、注力していくことで、他社との差別化を図ります。

### 強みと特徴

#### 海外展開が成長のフロンティア

顧客企業の海外進出に伴い、1970年代から海外法人を設立し、現地システムサポートを提供したのが海外IT事業の始まりです。昨今はアジア各国での成長に注目するとともに、デジタルビジネスの推進を見込み、インドやインドネシアを事業拠点とするIT企業を子会社化しています。現地でITサービスを提供するとともに、グループ会社と連携したビジネスを推進しています。

#### デジタルビジネスの推進

インドネシアを事業拠点とするMitrais社は、今後普及が進むと予測されているアジャイル開発について多くの実績があります。CAC Holdingsや国内IT事業会社と連携した組織を設け、グループ横断的にアジャイル開発のノウハウ蓄積や共有、ビジネス推進を目指しています。

### 強みと特徴

#### CROとITを組み合わせたサービスに強み

ITサービスの提供を中心とした製薬企業との長い期間にわたるビジネスの中で、医薬品開発のために行う治験(臨床開発)にまつわる業務を受託・代行するようになり、CRO事業が誕生しました。特に、ITを活用してCRO業務を効率的に提供できることが強みです。医薬品の副作用情報を収集、分析、評価する安全性情報管理業務や、薬事承認取得に必要な申請に関わる業務の実績は国内随一と自負しています。

#### 生産性向上と周辺ビジネスへの拡大

IT企業を起源とするCROであることから、AIやRPAなどの利活用による生産性の向上に加え、昨今注目されている医療ビッグデータなどのリアルワールドデータへのビジネス展開を進めています。また、化合物共有ライブラリー事業<sup>®</sup>など、周辺事業の拡大にも取り組んでいます。